

# ▼北陸

## 【富山】 NY・タイムズに富山が掲載！

県民はびつくり!!

年明け早々、ニューヨーク・タイムズが世界の旅行先「2025年に行くべき52カ所」を発表、わが国から富山市と大阪市が選ばれました。

富山の魅力は「混雑を避けながら、文化的な感動とグルメを楽しむ」と評価。

伝統行事の「八尾おわら風の盆」、現代ガラス芸術の拠点である市ガラス美術館(写真)、それ地元に着した飲食店5カ所が紹介されています。



複合施設「TOYAMAキラリ」を木と光でそびえ立つ大聖堂と表現

富山は、観光客で賑わう金沢との周遊的な存在ではありませんが、「山・川・海」の大自然に溢れ、

「富山湾鮭」に代表される食材も豊富です。

訪日客が訪れたいくなる「温泉、雪景色、日本食」など、すべて揃っています。

欧米からの誘客には、いかに情報発信するかです。スマホを利用した観光情報案内やSNSの活用。それに全国で挙がっている課題「受け入れ整備」や「人手不足」などをクリアすることです。

## 【石川】

### 民放クラブ・石川の始動！

北陸民放クラブ・石川は新年会を1月28日に開催。霰(あられ)も混じる悪天候にもめげず、会員25名が集まりました。

会場は、金沢市近江町市場の居酒屋です。八田会長の「民放クラブ・石川のスタートは今日の新年会から」という挨拶で始まり、集まった会員同士、近況を交歓しあいます。中には現下のメディアを巡る問題に白熱する場面も。最後は「お互い健康に留意して、今年も頑張りましょう」という締めめの言葉で、2時間ばかりの新年会は終了しました。嬉しいことに、今年は2名の新

入会員を迎えることができました。2025年は更に充実した活動を行えるよう会員一同、頑張る所存です。全国の民放クラブのみなさん、今年もよろしくお願いいたします。



25名の参加で盛り上がった石川の新年会

## 【福井】初めての文殊山登山

丹羽 京子(FTB)

さわやかな青空と満開のそば畑を眺めながら文殊山(もんじゅさん)へ向かう我々5人。これまで何度も悪天候で延期になった企画で、ようやく好天に恵まれた。

文殊山は福井市内にあり、標高365mの低山で、子供から高齢者まで簡単に登れる山として



文殊山の山頂で

市民に愛されている。

メンバーは一人を除いて、初文殊山で不安と期待が入り混じる。登り始めると、いきなり急登が続き、遠足気分に登れると聞いていたのに結構つらい…。すぐに疲れて休憩する。それでも見晴らしの良い所で景色を楽しんだり、神社でお参りしたり、木漏れ日が気持ち良い山道は、登りのつらさが和らぐ。

なんとか脱落者なく頂上に着てきた。頂上では北陸新幹線も見えたし、みんなで食べたバームクーヘンはやけに美味しかった。文殊山初登山は、ちよっぴり辛かったがとても楽しい一日となった。